

8部

3月卒業者 アンケート結果

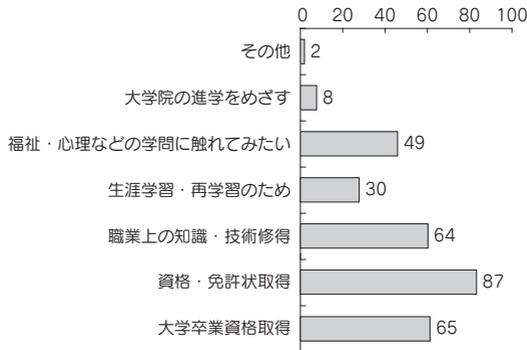
平成26年3月に本学通信教育部を卒業された方を対象に、アンケート調査を実施しました。4月10日現在110名の方よりアンケートのご回答を頂きました。本調査の集計結果は、下記のとおりです。今後の通信教育部での学習にご活用いただけたらと思います。

1. アンケートの概要

アンケートの回収状況は、社会福祉学科が86名、福祉心理学科が22名、社会教育学科が2名です（4/10時点）。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は、4月入学が98名、10月入学が12名であり、入学コースは、1年次編入が25名、2年次編入が4名、3年次編入が81名でした。

2. 入学動機

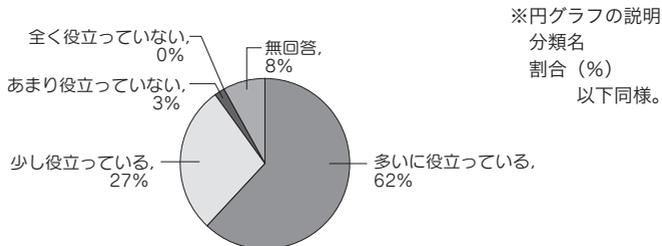
本学への入学動機（複数回答）は、図1のとおりです。



【図1】入学動機 N=305（複数回答）

3. 学びがどの程度役立っているか、および今後の資格等の活用について

通信教育部での学びが職場や家庭などの日常生活でどの程度役立っているかについては、図2のとおりです。



【図2】学びがどの程度役立っているか N=110

通信教育部で学んだことで役立てていること、今後どのようにいかに活かすかについて具体的なご意見は、下記のとおりです。

【役立てていること】

- ・相談援助業務において、自己覚知の重要性を学んだ。経験に頼って行っていたことに、知識・技術を修得することで、業務内容に少し深みを持たせることができるようになったと思う。
- ・学びの中で知った「子どもの貧困」から、自分自身も大学入学を諦め、就職した。しかし、現在の育児休業中の間に大学を卒業し、自分のスキルをあげたいという願いが、家族や周りのひとたちの協力により実現し、自分の大きな自信になっている。
- ・福祉を学ぶことで、人間について、人生、生活などについて深く考えるようになり、ものの見え方や考え方が柔軟になった。
- ・共に学ぶ仲間がいることの大切さを実感できたことで、家族・友人・職場などの人間関係に役立っている。
- ・ストレングス視点を自分の核とできたこと。理念や視点を学ぶことで明確な裏付けになった。ともすれば「経験こそ財産」に偏りがちだったと思うが、学びがあったからこそ、経験と理論を自分の言葉に置き換えることができた。
- ・津波ですべてを失った自分にとって、福祉という学問は自分が生きるうえでの支えになっています。
- ・心理学を勉強することで、自分の認知の歪みについて、客観的に勉強することが出来た。
- ・これまで以上に、人が好きになり、人に感謝の気持ちを素直にもてるようになった。

【今後に活かしたいこと】

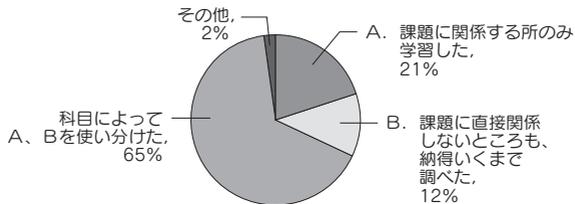
- ・現在介護支援専門員として勤務しているが、福祉の専門職として目先の利益に左右されることなく、倫理観をもって職務を全うしたいと思う。
- ・自分で就労支援施設の立ち上げを計画し、準備中です。施設やスタッフ、地域のひとへ貢献できるよう学びを役立てていきたい。
- ・児童発達支援の仕事をしているので、クライアントに対する個別対応に加え、地域資源の開発や連携など、子どもたちやその親、学校などがうまく関わられるような活動もやってみたい。
- ・資格を活かした仕事、ボランティアなど、生きている限り行っていきたいです。特に、震災で困っている方々への情報提供や関わりの中で福祉という学問は活用できると考えています。
- ・単なる心理学科ではなく、「福祉心理学科」に入学して学んだことにより、

社会福祉系の学問にも触れることができ、福祉に対する考え方を幅広く理解できるようになった。福祉の場での心理学的理解を深め、ボランティア等で生かしていきたい。

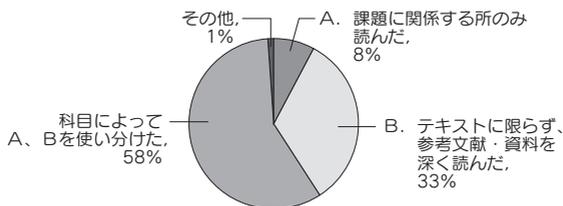
4. 学習方法および学習頻度・時間

学習に対していかに取り組んだかについて、図3のとおり「科目により使い分けた」が多い結果です。テキストをいかに読んだかについても、図4のとおり「テキストのみ・課題に関係のあるところのみ読んだ」と「テキストに限らず、その他の参考文献・資料を広く読んだ」を使い分けた方が多いようです。

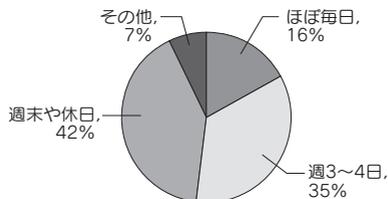
学習頻度は、図5のとおり「週3～4日」「週末や休みの日にまとめて行う」が多くなっています。また、図6のとおり、1週間あたり10時間前後の学習時間を設けた方が多いようです。



【図3】学習にいかに取り組んだか N=110



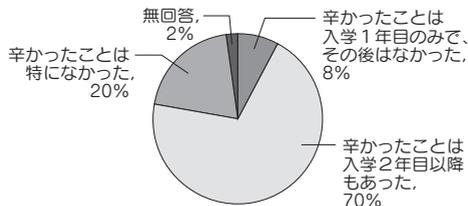
【図4】テキストをいかに読んだか N=110



【図5】学習頻度 N=110

5. 具体的な学習状況

学習していてつらかったことはあったかについては、図6のとおり「辛かったことは入学2年目以降もあった」が多く、多くの学生さんが辛いことを乗り越えて卒業された様子が伺えます。

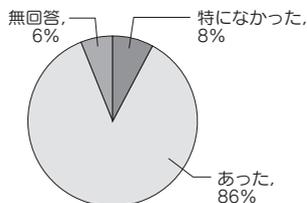


【図6】学習していてつらかったことはあったか N=110

辛かったことへの具体的な対処方法は、下記のとおりです。

- ・学習した内容をなかなか覚えることが出来なかった。学習計画をたて、一週間当たりの勉強時間を確実に達成できるように努力することで、知識が定着するように努めた。
- ・図書館が遠く、参考図書がなかなか手に入らなかった。インターネットで安い中古本を見つけて購入した。
- ・テキストの内容がなかなか理解できないときがあった。その時は、公共の図書館に行き、内容の易しい本などを探すなどして、すこしずつ理解するようにした。また、レポート課題はスクーリングを受講する予定の科目は、受講後にレポートを作成したほうが良い。
- ・学業と仕事と家庭との両立が非常に大変だった。スクーリングを参加し、同じような環境のひとと出会って、励ましあうことで少し精神的に楽になった。また、何も勉強しない日を数日間つくるなどして、リフレッシュするようにした。
- ・演習や実習に追われ、決められた単位を取ることに必死で大変だった。自分は1・2年次にのんびりしすぎてしまったので、後半追い込まれてしまった。早め早めに、レポート提出や試験受験を進めたほうが良い。
- ・「心理学実験Ⅱ」からスクーリングを受けてしまい、わけがわからず苦しんだ。福祉心理学科の実験系は、「心理概論」等だいたいの授業を受けてから受講した方が良い。

学習していて楽しかったことについては、図7のとおり「楽しかったことがあった」が9割弱でした。



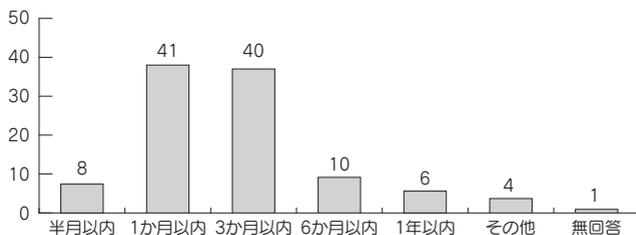
【図7】 学習していて楽しかったことはあったか N=110

具体的内容としては、下記のとおりです。

- ・スクーリングでいろいろな方と出会えたこと。仲間ができたこと。
- ・ニュースや新聞で聞いたことのある漠然とした言葉や制度が理解できるようになったとき、“知る”ことの喜びを感じました。
- ・返却レポートに書かれた先生からのコメントを読んで、自分の考え方に自信を持つことができるようになった。
- ・実際の現場で、自分が学んだことが役立ったこと。
- ・それぞれの科目が、関連し合っていることを理解できたこと。
- ・心理系の科目はおおむね、深く学べば学ぶほど、面白い。

6. レポート学習について

入学後初めてレポートを提出した時期については、図8のとおり「1か月以内」「3か月以内」が多いようです。



【図8】 入学後初めてレポートを提出した時期 N=110

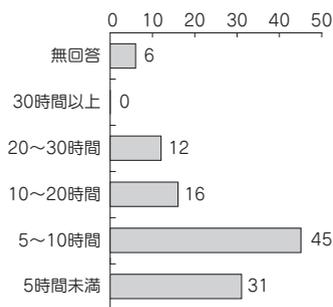
レポート学習についての在學生へのアドバイスは下記のとおりです。

- ・完璧でなくとも、とにかく出す。再提出であったときは、先生のコメントを参考にして、レポートに肉付けして出すと良いと思う。
- ・自分でしっかり学習計画をたてることで、「さあ、やるぞ!」という気持ちを引き出すことができると思う。また、事前学習は理解を進める為に非常に大切だと思うので、流し読みでもいいから必ずテキストに目を通すと良い。

- ・レポートで行き詰った時、いったんその科目から離れて、他の科目に取り掛かると良いと思う。違う科目でも共通点があるので、そこからヒントが得られ、双方の科目の課題に対して多角的な視点で考察できると思う。
- ・これまで学習したことがないような課題に、どうレポートをまとめたらよいか分からず、手をつけられなかったり、モチベーションが維持できなかったりした。その後、レポートをうまくまとめようとするのはいったん止めて、ひとまずテキストをしっかりと読み、自分の考えや疑問を素直にまとめるようにしたら作業が進むようになった。
- ・最初からテキストを読むと理解できないことが多かったので、ある程度インターネットで関連項目を検索し、大まかな理解を得てからテキストを読み進めるとよい。
- ・福祉心理学科に関して、すべてのレポートに手をつける前に、参考図書で提示してある「図解よくわかる心理学」を読むと良いと思う。とても読みやすく、心理学のイメージをつけてからレポートに取り組むと、やりやすい。
- ・スクーリングを受講した科目は、ひと月以内にレポート作成して提出するようにしました。これを必ず実行するようにすると、自然と進んでいきます。

7. 科目修了試験について

科目修了試験準備（1科目）に要した平均延べ時間数は図9のとおりです。



【図9】科目修了試験準備（1科目）に要した平均延べ時間数 $N=110$

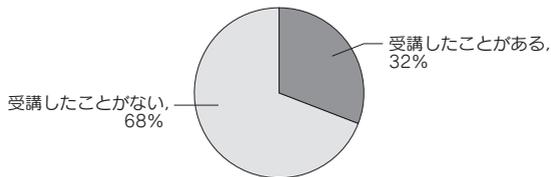
具体的な試験勉強の方法は、下記のとおりです。

- ・過去に出題された問題やレポート課題をノートにまとめ、キーワードを暗記した。大学の図書館で通学生に混ざって勉強した。
- ・試験の雰囲気のみたり、問題を得たりするためにも、まずは試験を受けてみた方がいい。科目修了試験はレポートと違い、時間制限があるので、しっかりと書きたいことをまとめて、冷静に頭のなかに入れておく。

- ・ 何度か試験を受けると各科目の出題傾向が見えてくるので、それをもとにテキストやレポート、参考文献を見直し、まとめておき、読み返すようにした。たいていの科目は、レポート課題をやっていれば答えられるものが多いので、レポート作成のとき、科目修了試験のことを意識しながら勉強すると少し楽になると思う。
- ・ 山をはらず、重要項目について、自分の言葉で内容と考察を述べられるように日ごるからトレーニングしておくの良い。たとえば、重要項目をまとめたようなメモを仕事の合間や休日にチェックして考えを巡らすようにしておく、今後の国試にも少なからず役立つと思う。
- ・ 教科書をまとめてポイントを書きだすと同時に、返ってきたレポートの添削箇所を一緒にまとめて、赤ペンでチェックし、2～3日前までに暗記する。

8. オンデマンド・スクーリングについて

オンデマンド・スクーリングについては、図10のとおり「受講したことがある」が7割弱となりました。



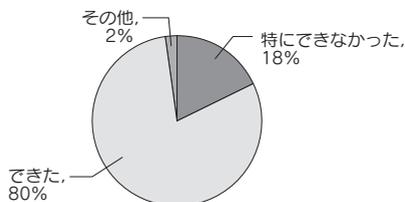
【図10】 オンデマンド・スクーリングを受講したことがあるか N=110

オンデマンド・スクーリングを受講しての感想は、下記のとおりです。

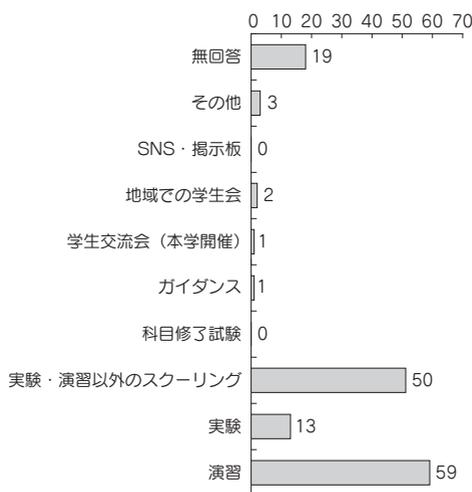
- ・ 何度も繰り返し見ることが出来るので勉強になります。通常のスクーリングより、試験の難易度は高いようです。
- ・ とても受けやすかった。チェックのためのテストも役立ち、良かった。自分の都合に合わせて学習できるので使いやすかった。
- ・ 1コマが2つに分割されているのが良かった。実際のスクーリングの90分は頑張れるが、自宅だと集中力が続かなかったり、用事ができてしまったりするので。臨場感がある録画だったので、心配していた割には講義に引き込まれた。
- ・ 仙台市に住んでいない学生には経済的にも時間的にもとても便利。しかし、どれだけ集中して受講できるかは、自分次第だと思う。
- ・ 深夜しか空いている時間がないわたしも利用できた。確認テストなどためになった。

9. 学習仲間について

通信教育部で共に学ぶ「学習仲間」について、図11のとおり「できた」が8割強となりました。学習仲間ができたきっかけとして、「社会福祉援助技術演習などの演習科目スクーリング」「心理学実験などの実験科目スクーリング」のほか、「講義科目のスクーリング」も多いようです（図12）。



【図11】 学習仲間が出来たか N=110



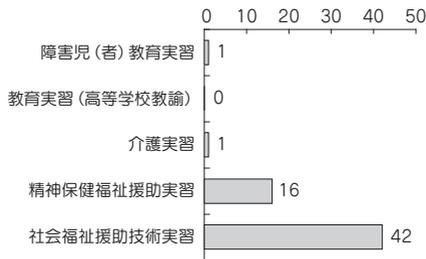
【図12】 学習仲間ができたきっかけ N=110

学習仲間と協力し合った具体的な内容としては、下記のとおりです。

- ・演習の受講条件を確認しあったり、提出物締切などの情報交換をしたりした。
- ・お互いに励ましあい、学習のモチベーションを保った。レポート作成で悩んだとき、方向性などについてヒントをもらった。
- ・スクーリングに集中するとヘトヘトになって疲れるので、休み時間に学習仲間と会話することでリフレッシュできた。

10. 実習について

回答者のうち実習を行った方の実習種別については、図13のとおりです。



【図13】実習種別（複数回答） N=60

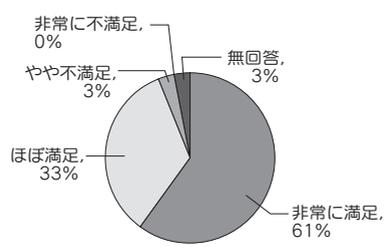
実習を行う学生へのアドバイスとしては下記のとおりです。

- ・実習指導者の方から、「実習生は恥をかいてください。」との言葉があり、吹っ切れて無事に実習が終えることができた。みなさんも恥をたくさんかいてください。
- ・実習期間が長いので、途中で息切れしないようにしましょう。実習期間中は試験のことなどは考えず、集中したほうがいいです。
- ・実習計画を立てるのは大変だが、計画こそが実習の土台になるので、安易に作成せず、熟慮して作成することが大切だと思う。丁寧に毎日の実習に取り組み、積み重ねていくつもりでいれば、得られるものはたくさんあると思う。
- ・机上の学習が身につくのは実践だと思う。そこで大学での学びやこれまでの経験などを再考することになるし、理想と現実とのギャップに突き当たり悩むことも現場ならではのと思う。何よりも利用者の方とともに過ごして感じることから学びは大きい。
- ・一度社会人を経験しているからこそ、活かせる実習があるはず。自信を持って頑張ってください。
- ・実習先を選ぶ半年以上前から、可能であればボランティアなどで実習先として適当か体験調査をしておくのが良いと思う。また、様々なルートで、人脈づくりをしておくのも良い。
- ・「何かうまくいかない感じ…」で当たり前です。どんどん質問しましょう。

11. 在学生へのメッセージ・通信教育部で学んだことの感想（学習全般）

- ・働きながらの勉強は大変なことばかりですが、自分の目標をもってひとつひとつクリアしてすすめてください。

- ・仙台会場でのスクーリングの時間設定が関東地方から駆け付けられ、当日のうちに帰れるように考慮されている。働きながらやっとの思いで学習しているものにとっても、頑張ろうと励みにつながった。
- ・高校も通信で23歳の時に卒業したので、大学で学ぶ事ができるとは思っていなかった。誰もが平等に学んでいいのだと嬉しく思います。
- ・現場で起きていることの積み重ねを糧とされている先生方の授業に深い感銘を受け、お手本にしたいと感じました。
- ・通信教育は続かない、というのが一般的な通説かもしれませんが、この2年間は現役の大学時代よりも勉強しました。短い期間でしたが、自分の人生のなかで一番充実した日々だったと思います。
- ・時間的にも、経済的にも大変な時期もあったが、やりきれたことが大きな自信になった。
- ・心理学について、全くの素人である自分にとって、とても分かりやすく、かつ深い知識を得ることができたことを満足している。
- ・レポートを作成するたびに自信ができました。必ず出来る事を信じて、前に向かってほしい。



【図14】 東北福祉大学通信教育部で学んだことに満足しているか N=110

東北福祉大学通信教育部で学んで、9割以上の方から「非常に満足した」「満足した」との回答を頂くことができました(図14)。

◆まだまだ多くのメッセージをいただいております。引き続きさまざまな機会にご紹介していきたいと思っております。本アンケートにご協力いただきました卒業生の皆様に御礼を申し上げますとともに、ますますのご活躍を祈念いたします。